

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
13	下田 良秀（17）	<p>1. 富士市における今後の農業への施策と鳥獣被害対策について</p> <p>これまで日本の農業は、国内外の社会情勢や自然環境、食料事情などの様々な変化に対し適応し進められてきていたが、激しい少子高齢化社会の現在では厳しい状況に立たされている。</p> <p>高齢化による担い手不足や従事者減による耕作放棄地の増加、国際化による価格競争など様々な課題のある中で、国の根幹を担う1次産業である農業に対しては、国も様々な施策を通して持続可能な形で農業が発展できるよう取り組んでいる。</p> <p>この富士市においても国と同じような課題を抱えていることは事実であり、持続可能な形で農業を推進していく施策が必要である。後継者不足の問題、耕作放棄地への対応、また自然環境の変化により、地域によっては鳥獣被害から農業を続けることも難しくなるようなケースも伺っており、様々な課題に対応していく必要があると考える。</p> <p>現在、そんな中でも富士市の農業を担う方々の努力により、これまでのお茶のブランド化などの取組に加え、梨やトウモロコシ、落花生など様々な作物のブランド化の取組が行われている。また、観光農業や農福連携などの地域活性化も含めた新しい取組として、6次産業化も精力的に行われるようになってきている。</p> <p>近年の厳しい状況の中でも、あの手この手と農家の方々が前向きに様々な努力をされている中で、ますます必要性の高まっていく富士市における今後の農業への施策と鳥獣被害対策について以下伺う。</p> <p>(1) 高齢化による農業の担い手不足や従事者減による耕作放棄地の増加、価格競争のような外的要因による課題等、今後の農業の課題に対応するための富士市における施策についてどう考えているか伺う。</p> <p>(2) ブランド化や農福連携、観光農業を含む6次産業化等の新しい取組を推進させるために、富士市ではどのような施策を進めていくか伺う。</p> <p>(3) 鹿、イノシシ、猿等だけでなく熊まで出るようになった環境の中で、どのような鳥獣対策をしていくか伺う。</p> <p>2. 物価高騰による公共事業への影響と対策について</p> <p>現在、国際社会の状況の変化や経済状況の変化から、世界規模でインフレが起きている。IMFによるとインフレ率は去年が8.7%、今年は7%とされており高い水準となっている（2023年4月11日の報告より）。我が国でもそのような波が押し寄せ物価上昇が起きており、様々な影響が出てきている。</p> <p>そんな中で様々な自治体でも、見込んでいた費用の増大による問題などから、公共事業の変更や見直しが迫られるケースが見られるようになったとの報道もある。</p>	市長 及び 担当部長

順位	氏名（議席）	発 言 の 要 旨	答 弁 者
13	下田 良秀（17）	<p>そこで、富士市でも多額の費用が見込まれる公共事業への影響と対策について、以下伺う。</p> <p>(1) 富士市立中央病院の建て替えへの影響と対策はいかがお考えか。</p> <p>(2) 富士駅北口周辺地区再整備への影響と対策はいかがお考えか。</p> <p>(3) 今後の財政運営の中で、その他影響が大きいと見られる公共事業とその対策をどのように考えているか。</p>	市長 及び 担当部長